

## 平成31年度（令和元年度）「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立若楠小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

### ■ 調査期日

平成31年4月18日(木)

### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

### ■ 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査(国語、算数)

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

#### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

| 児童生徒に対する調査                                                              | 学校に対する調査                                                                                |
|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査<br>(例) 国語・算数への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など | 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査<br>(例) 授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など |

### ■ 調査結果及び考察について

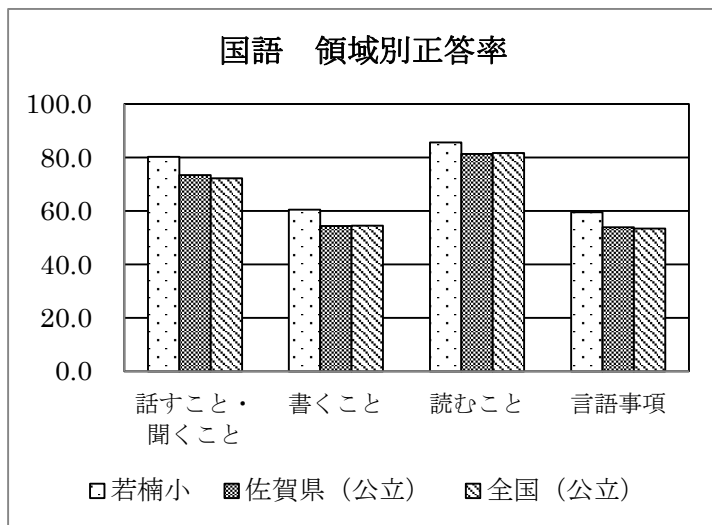
全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

## ■ 調査結果及び考察

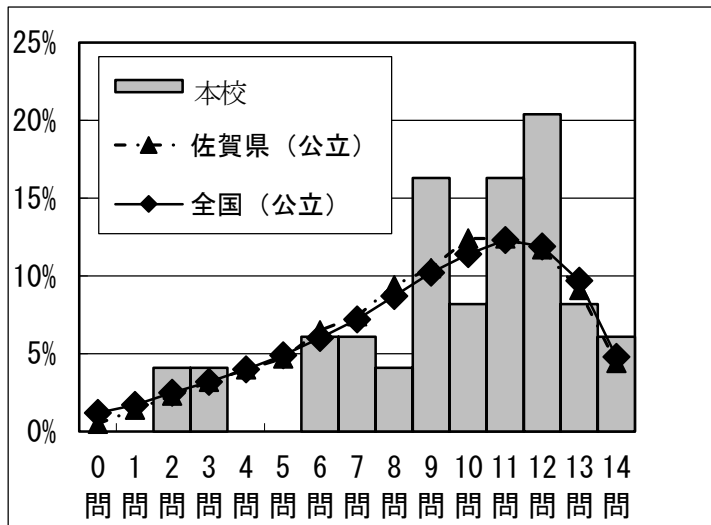
### 1 国語

#### (1) 結果

##### ① 全国正答率及び県正答率との比較



##### ② 正答数の分布



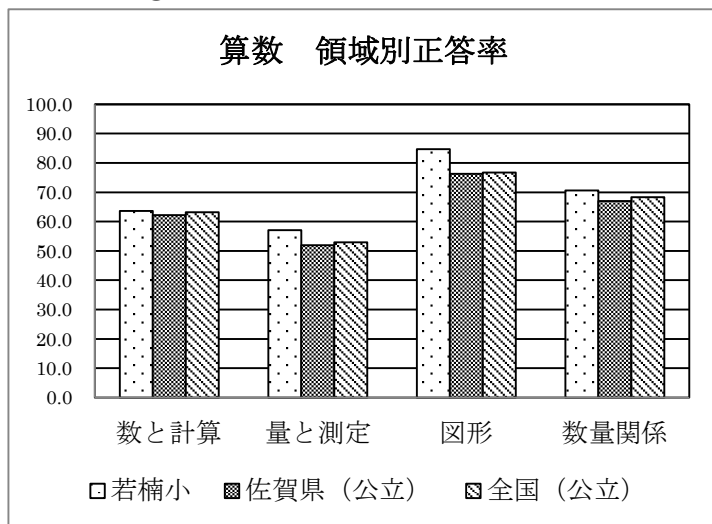
#### (2) 成果(○)と課題(●)

- どの領域においても佐賀県平均、全国平均ともに上回っている。
- 必要な情報を得るために、本や文章全体を概観して効果的に読むことはできている。
- 相手の意図を捉えながら聞き、自分の理解を確認する質問はできている。
- 漢字(同音異義語)を文の中で正しく使うことに課題がある。
- 相手に分かりやすく情報を伝えるための記述の工夫を捉えたり、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書いたりすることに課題がある。
- 条件に合うように、複数のカテゴリーから、必要な情報を取り出して、まとめて書くことに課題がある。

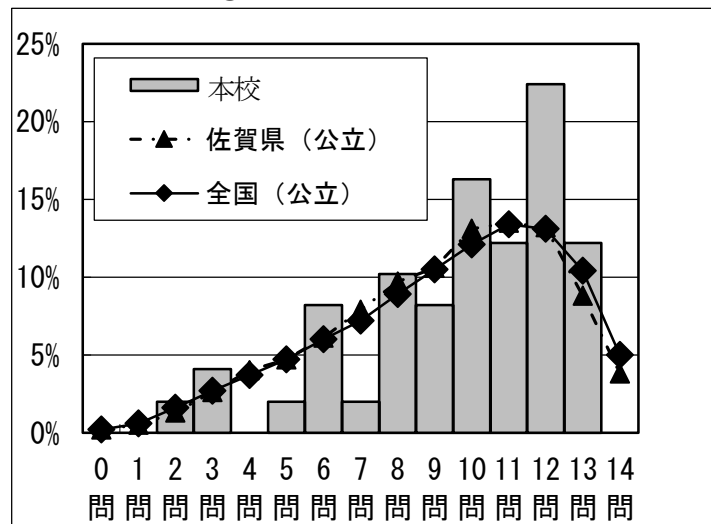
### 2 算数

#### (1) 結果

##### ① 全国正答率及び県正答率との比較



##### ② 正答数の分布



#### (2) 成果(○)と課題(●)

- どの領域においても佐賀県・全国レベルともに上回っている。
- 特に「図形」領域については、正答率が高い。
- 棒グラフから正しく読み取ることができている。
- わり算の式の値が何を表しているのか理解しておらず、何を求めているのか分かっていない。
- 全体的に、記述式の問題については、誤答や無回答の児童が多く見られる。

### 3 児童質問紙

#### (1) 結果

《基本的な生活習慣に関する項目》

※「思う」「だいたい思う」の合計

| 調査項目               | 本校 %  | 佐賀県% | 全国平均% |
|--------------------|-------|------|-------|
| 毎日、同じくらいの時間に起きている。 | △93.8 | 92.2 | 91.6  |
| 毎日、同じくらいの時間に寝ている。  | △83.7 | 82.5 | 81.4  |
| 朝食を毎日食べていますか。      | △97.9 | 95.5 | 95.3  |

《家庭学習に関する項目》

| 調査の項目                      | 本校%   | 佐賀県% | 全国平均% |
|----------------------------|-------|------|-------|
| 家で自分で計画を立てて勉強をしている。        | △79.6 | 73.5 | 71.5  |
| 普段（月～金曜日）1日あたり1時間以上勉強している。 | △32.6 | 23.9 | 29.3  |
| 普段（月～金曜日）全く勉強をしない。         | △0    | 2.0  | 2.3   |
| 普段（月～金曜日）30分以上読書をしている。     | ▼16.3 | 18.0 | 18.3  |

《ICTを活用した学習状況に関する項目》

| 調査の項目                      | 本校%   | 佐賀県% | 全国平均% |
|----------------------------|-------|------|-------|
| 授業でコンピュータなどのICTを週1回以上使用した。 | △73.4 | 55.6 | 30.6  |
| 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したい。  | △100  | 88.7 | 86.5  |

《主体的・対話的で深い学びに関する項目》

| 調査の項目                                                         | 本校%   | 佐賀県% | 全国平均% |
|---------------------------------------------------------------|-------|------|-------|
| 学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。                | △85.7 | 74.5 | 74.1  |
| 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。                             | △83.7 | 79.8 | 77.7  |
| 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるように、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。 | ▼59.2 | 61.6 | 62.5  |

#### (2) 成果(○)と課題(●)

- ほとんどの児童が、基本的な生活習慣が身につく、生活のリズムが整っている。
- 家庭で、自分で計画を立てて学習ができている児童の割合が、佐賀県・全国平均と比べて高い。
- 課題の解決に向けて、「失敗を恐れないで挑戦する」「解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法で考える」など、肯定的な回答をする児童の割合が高い。
- 1日に読書している時間の割合が低い。

## ■学校全体としての学力向上の重点

以上の分析を踏まえ、学校として以下のような方策を立てて、学力向上に取り組んでいきます。結果は6年間の学習の積み重ねによるものと捉え、学習内容や発達段階に応じて全学年を通じて計画的、継続的な取り組みをしていきたいと思います。

### 学校での指導の重点

- 算数科において基礎的・基本的な「知識」の内容（公式など）を一覧にしたものを暗唱する。
- 「活用」の問題を宿題で出す。
- ノートのマスや線を意識させながら、文章を書かせたり、作図をさせたりする。
- 筋道を立てて自分の考えを説明するために、話型のモデルを提示する。

### 家庭での取り組みのお願い

- 引き続き、自主学習の習慣化・生活習慣の見直しへのご理解とご協力をお願いします。3点固定（学習時間、寝る時刻、起きる時刻）を意識し、生活のリズムを整えてください。テレビやゲームの時間のルールが決められているといいですね。
- 勉強好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて便利だな。おもしろいな。ふしぎだな。」と思う経験をさせるのが一番です。例えば、生活場面で算数を使ってみてください。「おかし数えでかけ算」「おかし分けでわり算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で割合」「買い物で概数」「家の中で図形さがし」など、ちょっと意識するだけで、身の回りには算数で使えることがたくさんあります。ぜひ、声かけをお願いします。
- できた・できなかったの成果に目を向けるのではなく、がんばっている姿や解決しようとする姿に目を向けて、しっかりとほめ、認めてください。子どもたちが自信をもてるようにしていきましょう。